専門教育科目 講義科目

授業科目名	組織行動論	科目コード	配当年次	単位
担当教員	齊藤　弘通	EJ51	3・4	2

科目の概要

組織行動論とは、組織内で人々が示す行動や態度についての体系的な学問領域である。現代社会においては様々な組織と関わりを持って生きていかなければならない。組織行動論は組織内での対人関係スキルを向上させるための手助けとなる。

この科目では、組織と人との関わりや組織における人間行動を、応用行動科学（心理学、社会学、社会心理学、人類学、政治科学など）の理論を使いながら解き明かしていく。

科目の到達目標

①組織行動論の全体を把握するとともに、組織行動の基礎的知識・理論を理解することができる。
②組織行動論を学ぶことで、自分自身に関わる困難かつ長期的な個人行動や集団行動の変化を促進させることができる。

テキスト	『組織行動論 ベーシックプラス』開本 浩矢,中央経済社,2019年

テキストの読み方

①組織行動論に関する知見が体系的に記述されている。主な内容は、「モチベーション、組織コミットメント、意思決定と合意形成、キャリア・マネジメント、組織市民行動、組織ストレス、チーム・マネジメント、リーダーシップ、組織学習、組織変革、組織文化、組織的公正、ダイバーシティ・マネジメントなど」である。
②テキスト内容はできるだけ現代的な話題になるように工夫されている。受講者は、日常の行動にどう応用していくかを考えながら読んでいくことが求められる。

単位修得の方法

①リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。
または、
②iNet スクーリングを受講し、合格すれば２単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。